

た + す + と

2009年1月

第4号

市民活動や地域活動をしている方、
これからしたいと思っている方に役立つ
情報を隔月で発信しています。

●もくじ●

P 2～3 たがサポを拠点に活躍中！～共同事務室入居団体紹介①

T・A・P多賀城

特定非営利活動法人健康応援・わくわく元気ネット

P 4 『NPOマネジメント～メンバーが楽しくいきいきと活動できる組織づくり』開催報告

“組織運営” がわかると、活動はもっと元気になる！

P 5 『たがじょう市民活動大交流会』開催報告【速報版】

しっかり交流！がっちり獲得！

たがサポブックレビュー 「協働の強化書」

P 6 これからのたがサポ～今後の事業紹介

スタッフがおすすめする！たがサポミニ活用術～展示スペース

たがサポとは？

たがサポの機能って？

今月のひとコマ



12月7日
たがじょう市民活動大交流会を開催しました
→詳しくは5ページへ

たがサポ通信の愛称は『た+す+と』に決定

創刊号から実施してきたこの通信の愛称募集では、38名の方から103作品の応募がありました。

選考の結果、愛称は『た+す+と』に決定しました。「〇〇と△△を足すと…」の“たす”からとったこの名前には、2つの想いが込められています。1つ目は、たがサポで市民活動や地域活動をしている人たちが出会い、お互いの強みを持ち寄ることで多賀城のまちづくりに新たな力を生み出せるように。2つ目は、『た+す+と』から多賀城市周辺の市民活動・地域活動に関する情報を得ることで「暮らしのプラスになった」と読者に思ってもらえるような情報を発信していくことをめざして。

ご応募いただいた作品の中から入賞した方には、多賀城市観光協会提供の市内の名産品をお送りいたします。

たくさんのご応募ありがとうございました。

たがサポを拠点に活躍中！～共同事務室入居団体紹介①

当センターの2階には、市民活動団体の簡易事務所として活用できる事務用ブースがあります。この事務用ブースを拠点としながら、さらにステップアップしようと活動する入居団体を紹介していきます。

第1回目は、「T・A・P多賀城」と「NPO法人 健康応援・わくわく元気ネット」さんにお話を伺いました。

出会いとつながりでにぎわいをうみだそう

T・A・P多賀城

●きっかけは異業種交流会

タウン・アクティベーション・プロジェクト多賀城（以下、T・A・P多賀城）設立のきっかけは平成17年10月から始まった異業種交流会。集まったのは働き盛りの30代、40代が中心。商店主や経営者など、多賀城の地域経済を支える人たちです。最初は雑談程度だった交流会も少しずつ多賀城駅高架事業（※）に伴う駅前まちづくりの話へ。どうすれば多賀城というまちを活性化できるか考え始めます。その後、交流会を重ねるうちにせっかくだから名前をつけようという話になり、T・A・P多賀城が誕生しました。

現在の会員は20名。団体の主な活動は、友好都市である天童市と市民レベルで交流を深める「天童・多賀城市民まつり」、冬の夜空をイルミネーションで飾る「悠久の詩都（まち）の灯り」、さまざまなアーティストが弾き語りやダンスを披露する「ライブ in たがじょう」など、多賀城駅前を中心にまちの活性化に取り組んでいます。

※多賀城駅高架事業…交通渋滞や地域分断などを解消するために仙石線多賀城駅付近の約1.8km区間を連続高架化する事業。2011年度完成予定。あわせて中心市街地の活性化を実現するための多賀城駅周辺整備計画も進められている。

●悠久の詩都の灯り

11月に入ると、きれいなイルミネーションが多賀城駅前を明るく照らしています。今年も11月23日に「悠久の詩都の灯り」の点灯式が行われました。当日は屋台やゴスペルグループのパフォーマンスなどもあり、駅前に大勢の方が集まっていました。この「悠久の詩都の灯り」は今年で3回目を迎え、多賀城駅前の風物詩になりつつあります。このイルミネーションは、12月31日まで毎日午後5時～午前0時に点灯してい

ます。毎週金曜日には「多賀城いいもの情報発信&屋台出店」と題してイベントが行われます。普段は何気なく通り過ぎてしまう駅前も、カラフルなイルミネーションに思わず足を止めてしまいます。

●「たがサポ」は出会いの場

日々、精力的に活動しているT・A・P多賀城の皆さん。各事業に向けて当センターの会議室を頻繁に利用しています。「6月に市民活動サポートセンター（通称：たがサポ）が開館してから、いろいろと新しい出会いが増えました。」と、お話を伺った代表の佐藤さん、事務局の加藤さんが声をそろえて話していました。さまざまな交流からぼっと出た話の実現したり、新しい協力者が現れたり、イベントのチラシやポスターを作ってもらったりと、「たがサポ」を出会いの場として新たな横のつながりができています。このつながりを大事にしつつ、来年度以降も、現在行われている各種事業を継続的に行っていきたいということでした。



←多賀城駅前で開催された「天童・多賀城市民まつり」の様子

T・A・P多賀城

〒985-0873
多賀城市中央2-25-3
多賀城市市民活動サポートセンターレターケースNo. 5
TEL:070-6620-2044(事務局:加藤)
FAX:022-366-2383
E-mail:katotetu.nori@athena.ocn.ne.jp

◎市民活動共同事務室とは

市民活動団体が簡易事務所として活用できる事務用ブースを備えています。パーティションで仕切られている中に、事務机とイスを用意しています。ちょっとした事務作業やパソコンを持ち込んだのデスクワークも可能で、開館時間内ならいつでも利用できます。1カ月の使用料は1000円。入居団体はここを拠点としながら、3年間の入居期間中に自立をめざし、たがサポのさまざまな機能を活用しながら活動しています。



楽しく！をキーワードに健康づくりのお手伝い

特定非営利活動法人 健康応援・わくわく元気ネット

●ダンベル体操で健康づくり、人づくり

健康応援・わくわく元気ネット（以下、わくわく元気ネット）は、平成13年にダンベル体操を発案した、早稲田大学の鈴木正成先生を招いて仙台で300人規模の健康講演会を開催したスタッフが母体となって結成された団体です。

当時の運営に関わった保健師や体操教室のリーダーなどがそのまま事務局スタッフとして活動しています。NPO法人化したのは、平成17年12月。主な活動は、ダンベル体操のリーダー育成や各地の市民センターや体育館で一般市民向けのダンベル体操教室の開催で、楽しく運動しながら健康づくりの支援活動をしています。会員は全国に130名以上。なんと、沖縄の久米島町も団体会員になっています。イベントは若い人だけでなく、シニア世代の方も参加していて、世代に関係なく、いつまでも健康に仲間と楽しくという共通の思いで活動しています。

●とにかく楽しく！仲間づくり

わくわく元気ネットのキーワードは「楽しく！」。お話を伺った理事の赤間さんからは、何度もこのキーワードが出てきました。毎年、おそろいのTシャツを作ったり、ニューズレターやチラシにかわいいイラストを載せたり、細かいところにも遊び心を忘れていません。活動報告が掲載されているホームページやニューズレターからも楽しく活動している雰囲気が伝わってきます。

わくわく元気ネットの活動は、健康づくりの部分に注目しがちになりますが、さまざまな運動を通した仲間づくりにも力を入れているのです。イベントへの声かけも、「いっしょにやりましょうよ！」と友達感覚で誘ってくれるので誘われた方も参加しやすく、仲間もつくりやすいそうです。また、健康づくりについて意識の高い方も多く、イベントへの申込が殺到するこ

ともあるそうです。

●ファッションショーも開催

わくわく元気ネットは、イベントのアイデアも豊富です。ダンベル体操だけでなくカントリーダンスやノルディックウォーキング等も活動のひとつとして行っています。来年の2月には誰でも参加できるファッションショー『わくわくフェスタ』を開催予定。ウォーキングやメイク、スタイリングなどの『わくわくビューティープロジェクト』と題した講座を受講し、前日にはリハーサルまで行う本格的なものです。ステージに立つのは6歳から84歳までの50名。今は本番に向けて広報や練習に力を入れているそうです。

たがサポに拠点を設けたことから、今後は多賀城でもダンベル体操教室を開きたいと考えているそうです。定期的開催できる場が見つかれば来年度以降に開催したいということです。

第1回 わくわくフェスタ

日時：2009年2月8日（日）10:45～13:30

場所：七ヶ浜国際村 入場料：1500円

内容：ダンベル体操等の体験型のイベントです。



←「ダンベル体操教室」の様子

特定非営利活動法人

健康応援・わくわく元気ネット

〒985-0873

黒川郡富谷町東向陽台3-16-13

TEL: 090-2361-5773

FAX: 022-373-6289

H P: www.wakuwakugenki.net/

“組織運営”がわかると、活動はもっと元気になる！

『NPOマネジメント～メンバーが楽しくいきいきと活動できる組織づくり』開催報告

10月に開催した『NPOマネジメント講座』では、メンバーが元気に活動をするためのコツを学びながら、「共感」をキーワードにした組織運営について、参加者同士が楽しく交流しながら知識を深めました。

今回は、特に皆さんの団体でも参考にできる内容について、そのいくつかをご紹介します。

日時：平成20年10月11日（土）
午後1時～4時30分
会場：多賀城市市民活動サポートセンター
大会議室
講師：特定非営利活動法人
せんだい・みやぎNPOセンター
常務理事兼事務局長 紅邑晶子さん

●NPOってなに？

～その特徴と、町内会や生涯学習団体との
かわり

NPOとはNon Profit Organizationと言う英語の略称です。日本では民間非営利組織と訳されており、「地域の課題や社会問題を解決するために活動する民間団体」と定義できます。この場合、特に「特定非営利活動法人」として法人格を取得している団体だけを指すわけではありません。これまで、地域の課題解決を担っていたのは主に町内会でしたが、近年はこうした特定の地域課題の解決をテーマに活動するNPOも、地域づくりの担い手として注目されています。地縁団体とNPOの活動がうまくつながると、その地域の課題解決力は大きく向上します。また、生涯学習のサークルが得意なことを活かして地域活動に協力することも、NPOに発展し活動していく芽になります。

●組織になるって、どういうこと？

～目的の明確化・共有化と役割の分化

どんな活動も最初は一人の想いから始まります。想いを語るうちに仲間が増えて「サークル」になり、さらに社会的な役割を担うようになると「団体」となって「事業」を行うようになります。そして、必要に応じて「法人」となり、より規模の大きな活動を始めることもあります。こうした流れの中で、もっとも重要なのは「目的」をメンバー内で意識して、共有することです。どんな活動にも目的があり、その実



→3人寄れば文殊の知恵?! 「わいぐるシート」というプログラムでは、自分の悩みを紙の中心に書いて、それに対するアドバイスを同じグループの人が次々と書き込んでいくという作業を行いました。

現のために汗を流すのです。そのためには、メンバーがそれぞれの「役割」を理解して、分担し、進めていくことが大切です。たとえ、それが小さなボランティアサークルであっても、役員・理事としてのボランティア、事務局のボランティア、活動のボランティアと大きく分けて3種類のボランティアがあります。ここを整理しておかないと混乱が生まれてしまいます。

●「共感」はすごく大切！

～活動を伝えるための工夫

メンバーが集まらなかったり、活動の知名度が上がらなかったり…活動が低調になる原因には「共感」の輪が地域に広がっていないことがあげられます。活動の必要性や魅力を地域の人にしっかりアピールすることで、その活動を支えよう、自分も協力しようという「共感」の輪が広がり、活動を支える大きな力となります。これには、単にチラシを配るだけでなく、口コミが大きな効果を生み出します。ですから、メンバーが自分の活動や団体をうまく説明して、他者の心に響かせて共感を生み出す能力を身に付ける必要があります。

…実際の講座では、参加者がワークショップを通じて協力しながらそれぞれの組織課題をあげ出し、解決の方法を探っていました。ただ話を聞くだけではなく、自らの想いや活動のようすを他の人に話してみることで、より、自らの団体や活動の抱える問題がはっきり見えるようになったようです。

当センターでは、これからもこうした講座を開催していきます。みなさんもぜひ、ご参加ください！

【参加者の声】

- 「共感」を得ることがいかに重要で大変かということを再認識しました。
- 今後の町内会のあり方について具体的に考えていけるように思います。本日の講座はためになりました。
- 自分を見直すことと、自分をとりまく周囲との関係も見つめ直すきっかけになりました。
- 同じ悩みを持つ人たちのため、話し合いがスムーズに進みました。気持ちが少し楽になりました。地域に帰ってまた頑張らなくちゃ！

しっかり交流！がっちり獲得！

たがじょう市民活動大交流会開催報告【速報版】

多賀城市を中心とした仙塩地区で活動するNPO同士交流を深めてもらおうと実施した「たがじょう市民活動大交流会」の様子を速報でお伝えします。なお、詳しい内容はスタッフブログ等でご報告いたします。

日時：平成20年12月7日（日）
 午後1時～3時
 わいわいがやがや！大交流会
 午後3時～3時15分
 茶話会
 午後3時30分～5時30分
 ボランティアマッチングタイム
 会場：多賀城市市民活動サポートセンター
 大会議室

●第1部 わいわいがやがや！大交流会

多賀城市を中心とする仙塩地区で活躍するさまざまなNPOで活動している方やこれから活動を始めたいと考えている方、行政職員など38名が参加。得意なことやお手伝いしてほしいことを書いた交流シートをもとに参加者同士交流しました。



コーディネーターのせんだい・みやぎNPOセンター代表理事加藤哲夫さんからは、自己紹介やネットワーキングのコツを伝授していただきました。

●第2部 ボランティアマッチングタイム

一緒に活動する仲間を募集している市民活動団体がブースを設け、ボランティア希望者が直接お話を聞きながら自分にぴったりの活動を見つけることができる

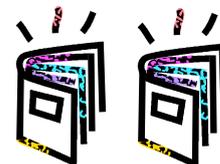


この企画。子ども、環境、国際交流などさまざまな分野で活動する9団体のブースが並びました。

当日会場で配布した各団体のボランティア募集情報を掲載した冊子は、当センター窓口で配布しています。これから何か活動してみたいという方はぜひご来館ください。

たがサポブックレビュー

…図書販売コーナーおよび閲覧図書コーナーから、スタッフおすすめの1冊を紹介します。



「協働の強化書

～NPOと行政・企業との協働を強化するために～

発行日：2007年3月31日

編集：「協働の強化書」研究会

発行者：特定非営利活動法人

せんだい・みやぎNPOセンター



「協働」という言葉が特に行政やNPOの間で使われるようになって、ずいぶんたちます。しかし言葉は知られていても、本当に理解された上で実行されているのでしょうか。

本書は市民と行政職員が共に調査研究を重ね、現場を取材して得られた成果が盛り込まれたものです。協

働を行っているけれど、現状に疑問を抱く行政職員やNPOのメンバーには名の通り心強い“強化”書になるのではないのでしょうか。

特に注目したいのは宮城県内の協働事例のレポートです。これは行政とNPOの双方が協働を理解し実施しているケースを17件取材しています。

事例は事業実施主体であるNPOへのヒアリングによって展開されており、NPOの発足及び協働を行うまでの経緯のほか、事業を展開する上でのメリットや苦労した点などが掲載されています。創意工夫をこらし協働事業を行う様子はどれも熱意にあふれており、読み手を力づけます。これらの事例から学べる点は多いでしょう。

■図書販売コーナー

NPO・市民活動団体が発行する図書（報告書、パンフレット等）を販売しています。詳しくはお問い合わせください。

●お預かりします：NPO・市民活動団体が発行する図書等をお預かりし、市民の皆さんへ販売をしています。自分たちの活動を広く知ってもらう機会となるだけでなく、団体の収益にもつながります。

●購入できます：一般の書店では見つけにくい団体の書籍もあります。購入していただくことで、団体をより深く理解することができるとともに、団体の支援にもつながります。

■閲覧図書コーナー

情報サロン内にある市民活動に関する図書・雑誌が閲覧できます。



これからのたがサポ ～今後の事業紹介



今後予定している講座やイベントをご紹介します。
各催しの詳細は、事務局までお問い合わせください。
みなさんのご参加をお待ちしています。

●NPOいちから塾

NPOについて知りたい方へ、わかりやすくお伝えする講座です。毎回同じ内容の講座です。お好きな日時をお選びください。

日程：平成21年 1月23日（金） 19：00～20：30
2月14日（土） 13：30～15：00

会場：市民活動サポートセンター

●たがサポ出前プロジェクト

みなさんの住んでいる地区におじゃまして、たがサポの活用方法を紹介します。地区で活動する団体の紹介もあります。

日時：平成21年1月31日（土）

会場：山王地区公民館

●あなたの学びが地域を変える

『市民活動のススメ』

～私たちのまちの将来設計～

講師に高崎経済大学地域政策学部地域まちづくり学科准教授 櫻井常矢さんをお迎えし、講演会とパネルディスカッションを開催します。

日程：平成21年2月7日（土）13：30～15：30

会場：多賀城市市民会館 小ホール



* スタッフがおすすめする！たがサポミニ活用術 *

当センターでは、NPOや市民活動団体の活動をPRする場として無料で展示スペースの貸出を行っています。玄関に入って正面が展示スペースです。団体のPRはもちろん、活動の様子を写真や作品を通して伝えたり、展示を見る人に問いかけたりと、さまざまな方法で情報発信することができます。

展示スペースを使ってみませんか？

- 対象 市民活動団体やNPOなど、非営利で公益的な活動をしている団体が行う展示。
 - 利用料 無料
 - 利用期間 約2週間(休館日をのぞく)
 - 受付期間 展示開始日の6ヵ月前より先着順
- ※詳しくは下記までお問い合わせください。

<お知らせ> 12月28日（日）～1月4日（日）は年末年始の休館日となります。

■たがサポとは？

市民の皆さんが行うまちづくりや地域づくりにつながる活動を総合的に応援することを目的として設置した施設です。市民・自治会・学校や企業の皆さんとの間で協働によるまちづくりを推進することも目的としています。

開館時間：月～土曜日 午前9時から午後9時30分まで
日曜日・祝日 午前9時から午後5時まで

休館日：毎週水曜日(水曜が休日の場合、翌日)
年末年始(12月28日～1月4日)

交通案内：JR仙石線多賀城駅より徒歩12分
駐車場・駐輪場があります

■たがサポの機能って？

①市民活動の場の提供

- ・貸室（有料）
市民活動の研修やイベント、会議等に使用できます。
- ・交流サロン（予約不要・無料）
少人数の打ち合わせや事務作業などに利用できます。
- ・レターケース（無料）
- ・ロッカー（200円/月）
- ・事務用ブース（1,000円/月）
- ・印刷作業室

レターケース・ロッカー
利用申込受付中

印刷機(用紙持ち込み/1製版100円/500枚)
コピー機(10円/枚)

②市民活動に関する情報の収集・提供

- ・情報サロン
市民活動に関するさまざまな情報があります。
チラシ・ポスターの受付、図書（閲覧用）、助成金情報、ボランティア情報、パソコン（作業・インターネット用/無料）

団体紹介パンフレット・イベントチラシなどをお持ちください！

③市民活動に係る人材の育成・支援

④市民・企業・行政の連携及び交流の推進

⑤市民活動に関する相談への対応



多賀城市市民活動サポートセンター事務局のスタッフによるブログです。ぜひご覧ください！

<http://blog.canpan.info/tagasapo/>

■たがサポは社会に支えられています

□自動販売機の設置

たがサポ内に設置している自動販売機の売り上げの一部は、多賀城市内の市民活動の推進のために使われます。協力企業：宮城中央ヤクルト販売(株)

□印刷作業室のコピー機

印刷作業室のコピー機は、コニカミノルタビジネスソリューションズ株式会社の市民活動を応援するという趣旨により、社会貢献価格にてご提供いただいています。



□発行：多賀城市市民活動サポートセンター

〒985-0873 多賀城市中央二丁目25-3

TEL：022-368-7745 FAX：022-309-3706

□発行日：2008年12月20日

□編集：特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター